

インナー大会プレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）ヨコハマイチリツダイガク	フリガナ）国際総合科学部	フリガナ）藤崎ゼミナール
横浜市立大学	国際総合科学部	藤崎ゼミナール

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ）フジサキゼミ	フリガナ）チームフジサキゼミ	3	無
藤崎ゼミ	チーム藤崎ゼミ		

研究テーマ（発表タイトル）
大学内選挙制度 ～高い投票率を目指して～

※必ず＜企画シート作成上の注意＞を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

大学生の投票率の向上

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

現在日本では投票率の低下が危険視されており、その中でも特に若者と呼ばれる世代がその数字を最も低い水準に保っている。このことによって政治家の打ち出す政策は高齢の方に向けたモノに傾き、それに付随して様々な社会的問題が起こっている。この対策として今年の参院選から投票可能な年齢が 18 歳に引き下げられたが、その投票率はワースト四位と、收拾が付かない事態になっている。

3. 研究テーマの課題

過去の国政選挙における年代別投票率をみると特に 20 歳代の投票率の低下が深刻だ。特に 20 歳代前半は大学進学等で地元を離れる機会があるが、住民票は移さないことが多い。その場合、不在者投票制度を利用することで投票が可能だが手続きが複雑で手間がかかるので制度の利用しにくさが指摘される。若者の投票率を上げるためには制度の利用しやすい環境づくりが必要である。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

私たちは自分たちの身近な存在である大学生に焦点を当て、投票率アップを目指した。大学生に焦点を絞った理由は、日本の将来の担い手となる大学生の声を政治に反映させるべきだと考えたのに加え、私たち自身が最もアクションを起こしやすいからである。実際の投票の現状を調べるために、私たちは大学生を対象に独自でアンケートを行った。その結果、回答者の中でも一人暮らしの多くが投票に行かない理由として住民票が手元にないためという選択肢を選んでいと分かった。住民票を移していない場合、在者投票制度という制度で対応できるが、その認知度や利用度が大学生の間でかなり低いこともアンケートにより判明した。制度があるにもかかわらず

ず利用しにくくなっていることが課題である。そこで私たちは大学構内で不在者投票制度を利用できないかと考えた。その内容は、投票期日が近づくと大学側が不在者投票制度の利用希望者の調査を行い、希望者の代わりに不在者投票制度の申請をして、住民票が手元に無くとも投票ができるようにすることで大学生の投票率アップを目指すというものである。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

アンケート作成サイト「questant」での、「大学生の選挙に対する意識の調査」のアンケートの作成及び調査

金沢区選挙管理委員会へ電話調査

TWITTER 投票機能による、アンケート調査

6. 結果や今後の取り組み

今のところ、電話調査やアンケート調査の結果は、期待に添ったモノになっており、順調に調査が進んでいる。

今後は政治家にアポを取り、形が多少変わったとしても、実現化が出来ないか尋ねる等考えている。

7. 参考文献

http://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/news/sonota/nendaibetu/（参照 2016.9.23）

インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

＜企画シート作成上の注意＞

※本企画シートは審査の対象となります。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、3 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。